

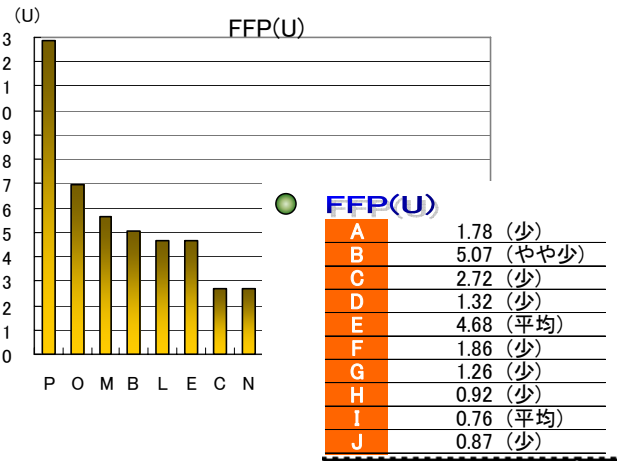
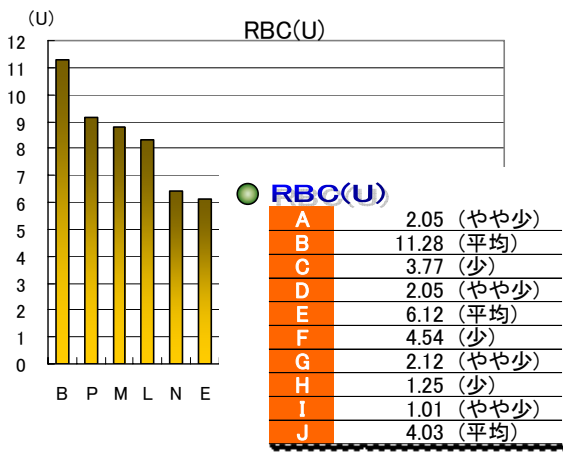
QIP アウトプットサンプル集

血液製剤の使用状況調査

今日、血液製剤の使用・輸血療法の適正化は、ウイルス感染やGVHDなどの合併症に対する安全性のみならず、医療資源の有効利用の観点から早急に改善すべき重要課題です。またDPCにおいてその有効性と経済性の検証も必要になっております。

QIPはDPC基礎調査レセプトダウンロード・データを利用して、病院別・診療科別・疾患別の血液製剤の使用状況を報告しております。また厚生労働省による「輸血療法の実施に関する指針・血液製剤の使用指針」を基準とした血液製剤使用量を判定、およびDPCコードでリスク調整した血液製剤の予測使用量を病院別・診療科別に計算し、実際の使用量と比較しております。これらの指標により、多施設間で自院・診療科の客観的な位置付けを知ることができます。

病床数・機能分類別からみた1床あたり年間血液製剤使用量*



* 厚生労働省「輸血療法の実施に関する指針・血液製剤の使用指針」による基準を使用

